

リズムニュース

米沢市立病院

循環器科

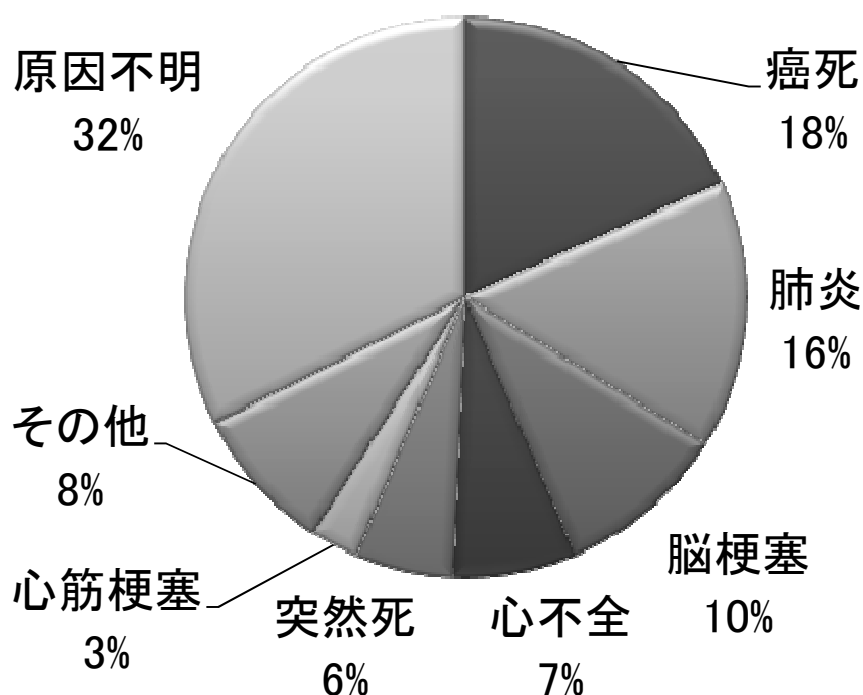
第17号2012年11月

ペースメーカーが入っている人の心不全

当院でペースメーカー植え込みは1983年からはじまり、393人の方の治療をしています。お亡くなりになられる方の死因の7%は心不全でした。

心不全ってなんでしょう。心不全は予防できるのでしょうか。

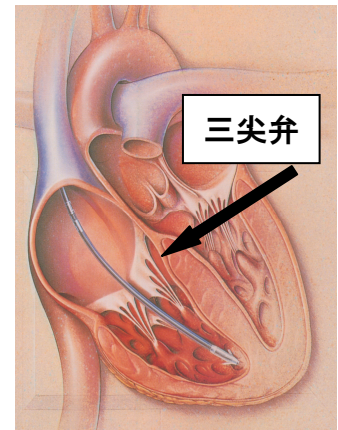
ペースメーカー植え込み後、死亡した方の死因



ペースメーカーを植え込みした方が起こしやすい心不全

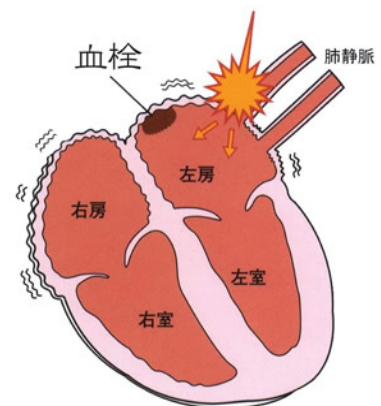
① 三尖弁という弁の逆流による心不全

リードが弁を通過して心室に挿入されていますが、リードのたわみ具合によっては三尖弁を押し上げたり押し下げたりして弁がしっかり閉じなくなることがあります。この現象は大なり小なり必ず見られるものですが、ひどく逆流する場合は 静脈の血液が心臓から押し戻されるために、静脈のうっ血をきたし、足のむくみ等が出てくることがあります。高齢になると多くなります。利尿剤で対応します。



② 心房細動を合併することによる心不全

洞不全症候群でペースメーカー植え込みを行った患者さまは、植え込み前から心房細動という不整脈(リズムニュース第8号参照)を合併することがおおく、動悸症状のほかに 足のむくみや息切れなどを訴える方がいます。乱れた脈をゆっくりにする薬や利尿剤で心不全の進行を防ぎます。



③ 心筋が弱ることによる心不全

ペースメーカーを入れることで心筋が障害されることはありませんが、房室ブロックでペースメーカーを植え込みした方の中には心筋障害を合併している方がいて、徐々に進行することがあります。心臓の収縮力が低下すると肺からの血液が心臓にもどりづらくなり、肺うっ血となり息切れなどの症状が出てくることがあります。思い当たる症状があるときには、はやめに心臓超音波の検査を受けましょう。ペースメーカー外来の時におっしゃっていただきますと、予約を取ることができます。